

胃透視

食道、胃、十二指腸までを観察していく検査です。胃を膨らませる薬(発砲剤)と、バリウムという造影剤を飲んでいただきます。検査台の上で体をグルグル回転しながら、胃の壁全体にバリウムを付着させていき、いろいろな方向から撮影していき、癌や潰瘍などがいないか調べます。



ERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)

内視鏡を使って胆管、膵管を造影する検査です。

閉塞、狭窄、結石の有無を調べます。

胆管内にチューブを挿入し、経鼻的に維持するENBD(内視鏡的経鼻的胆道ドレナージ)なども行います。



ミエログラフィー

腰の後ろから細い針を刺し、くも膜下腔に造影剤を注入する検査です。脊髄腔の形状や、閉塞の状態などの評価に用いられます。

またミエログラフィー後にCTを撮像することで、さまざまな断面で脊髄腔の状態を見ることができ、神経の圧迫等をより詳細に描出できます。

